

## まなびい 掲示板

### ▶第26回葛巻町女性のつどい

**と き** 12月4日（日）10:00～14:30  
**と ころ** グリーンテージ  
**内 容** 講演「東日本大震災における後方支援基地としての遠野」  
 講師 岩手県商工会女性部連合会長 松田 和子 氏  
 研修・活動報告  
**対 象** 会員、町民  
**参加費** 800円（昼食代として）  
**主 催** 葛巻町女性団体連絡会  
**申込み** 教育委員会事務局生涯学習推進室  
 TEL:66-2111(内線275)

### ▶サンタが家にやってくる！

葛巻町青年連合協議会（服部健会長）は、「サンタが家にやってくる」の訪問家庭を募集しています。

**と き** 12月24日（土）18:00～  
**内 容** 申込みのあった世帯に、青年サンタがプレゼントを届けます。希望がある場合は申込者が用意したプレゼントも渡します。  
**対 象** 小学2年生以下の子ども  
 70歳以上の高齢者  
**応 募** 専用の申込書またはハガキに、届け先住所（簡単な地図も）、氏名、年齢、保護者氏名、電話番号、対象者の将来の夢を記入して下さい。  
**申込先** 〒028-5495  
 葛巻町公民館  
 「サンタが家にやってくる！係」  
**参加費** 一人500円（プレゼント代）  
**締 切** 12月9日（金）  
 ※詳しくは教育委員会事務局生涯学習推進室  
 TEL:66-2111(内線275)へ

### 黛まどかさんと巡る吟行会 入賞作品

特選 秋深し遠嶺は湖の色をして  
 秀逸 草紅葉俳人まどか旅にあり  
 〃 袖山を下りくる風に蕎麦干さる  
 〃 秋天を突き白樺の白さかな  
 特別賞 やまぶどうたべるとすっぱいあまいよね  
 佳作 薪の香の漂ひ来る秋日かな  
 〃 薄日差す苅田にけむり立ちにけり  
 〃 どの家も薪積み上げて冬近し  
 〃 秋の色濃くして神の宴かな  
 〃 晩秋の風を見方に大風車

今 順子（青森県）  
 三ヶ森 青雲（青森県）  
 村木 登（下町）  
 中代 きみ江（茶屋場）  
 九鬼 佳奈芽（葛巻保育園）  
 久保 武美（青森県）  
 岡部 哲（青森県）  
 角田 智子（神奈川県）  
 奥山 真由美（北海道）  
 江口 みよ（青森県）



吟行会で指導する黛まどかさん④と参加者

### 第31回葛巻町子ども芸術展

町内の小中学生による書道、絵、工作などの作品展です。小さな芸術家たちの作品をご覧ください。

**と き** 12月6日（火）～16日（金）  
 9:00～19:00  
**と ころ** 総合センター2階

## 風と恋の優秀句を表彰 第10回俳句コンテスト



第10回風と恋の俳句コンテスト入賞者の皆さん



『黛まどかさんと巡る俳句教室』に参加した町婦人連絡協議会の皆さん

第10回「風と恋の俳句コンテスト」の表彰式は10月30日、町総合センターで町内外の入賞者ら約60人が出席して行われました。  
 また、表彰式に先立って「黛まどかさんと巡る吟行会」が平庭高原と袖山で開かれ、約30人が参加しましたが、参加者たちは紅葉に染まった山や袖山の風車を見ながら、思い思いの句を作成。袖山では、葛巻俳句会の方々により温かい牛乳ととうもろこしが振る舞われ、参加者は「温かくておいしい」とおかわりをする人もいました。吟行会の入賞者は表彰式にて、黛さんから直接賞状と副賞が贈られました。なお、吟行会の入賞句は次のページのとおりです。

表彰式前日の29日には、第1回から昼食を準備していただいていた町婦人連絡協議会（柴田幸栄会長）の方々が対象として「俳句教室」が開かれました。黛さんから直接指導を受けながら、役場裏の堤防などを散策。作者名を伏せたまま良い句を選びあう「互選」でそれぞれの句を発表しあった参加者たちは、俳句の深い魅力に引き込まれた様子でした。

11月号の俳句コンテスト、風の句最優秀賞「綿着て涼しき風を賜りぬ」は「木綿着て涼しき風を賜りぬ」でした。  
 また、恋の句最優秀賞「ねんごろに巻かれておりし落し文」は「ねんごろに巻かれて居りし落し文」でした。黛まどか町民特別賞の深澤優樹さんの学年「葛巻高校2年生」は「葛巻高校1年生」でした。  
 訂正しておわびします。